

各教育関係者様


 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校 平成23年度 研究発表会のご案内(二次)

## 研究主題：思考力・判断力・表現力等を育成する指導と評価 II ～言語活動の質的な充実を通して～

本校では、平成21年度の研究主題を「思考力・判断力・表現力等の育成」とし、言語活動を通した「指導」に主眼をおいて研究を重ね、実践の成果を発表しました。翌平成22年度には研究対象を「指導と評価」に広げ、思考力・判断力・表現力等の評価を、効果的・効率的に次の指導へ生かしたり記録に残したりするための工夫について研究を進め、その実践を提案いたしました。

ここで、平成23年5月には文部科学省より、「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【中学校版】」が示されました。そこには、言語活動の充実に関する基本的な考え方や言語の役割を踏まえた言語活動の充実について解説されており、優れた指導事例が多数収録されています。

続いて同年7月には、国立教育政策研究所より「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(中学校)」が示され、内容のまとめりごとの評価規準などととも、具体的な評価事例が例示されています。その中には、言語活動を通して指導し評価する事例についても紹介されています。

今年度は、以上の流れを踏まえてこれまでの研究をいっそう深めるべく、研究主題を「思考力・判断力・表現力等を育成する指導と評価 II ～言語活動の質的な充実を通して～」として研究を進めてきました。思考力・判断力・表現力等を育成するため、学習のプロセスを重視した教科カリキュラムの作成や授業における実際の指導と評価などについて、言語活動の質を高めるための工夫という視点から、具体を示しながら実践発表として提案いたします。

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校長 蝶間林 利男

1 主 催 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校

2 日 程 平成24年2月18日(土) 10:00～17:15

9:00～ 受付	10:00～10:50 公開授業① ・数学・美術 ・保健体育 ・技術・英語	移動	11:10～12:00 公開授業② ・国語・社会 ・音楽・家庭 ・理科	昼食 休憩	13:15～13:30 挨拶・提案 各教科分科会ごとに、放送で行います	13:30～15:30 研究協議 各教科分科会ごとで行います	休憩	15:45～17:15 講演
-------------	---	----	---	----------	---	--------------------------------------	----	-------------------

※ 昼食は、ご持参いただくか、学校前の弘明寺商店街などをご利用ください。また、お弁当の販売もいたしております。

3 助言及び講演の先生方

国語	文部科学省教科調査官 富山 哲也 先生	音楽	文部科学省教科調査官 大熊 信彦 先生	技術	文部科学省教科調査官 上野 耕史 先生
社会	文部科学省教科調査官 濱野 清 先生	美術	文部科学省教科調査官 東良 雅人 先生	家庭	文部科学省教科調査官 筒井 恭子 先生
数学	文部科学省教科調査官 水谷 尚人 先生	保健 体育	文部科学省教科調査官 石川 泰成 先生	英語	文部科学省教科調査官 平木 裕 先生
理科	文部科学省教科調査官 清原 洋一 先生				

4 各教科の研究テーマ・公開授業コンセプト・共同研究者 一覧

教科	各教科の研究テーマ 公開授業 学年	提案コンセプトや 授業の見所, 単元・題材など	担 当 ◇ 授業者	共同研究者 (横浜国立大学)
国語	○リテラシーの育成を促す指導と学習評価の工夫  公開授業② 1年 公開授業② 2年	・言語活動を充実させるための基本を培う国語科としての果たすべき役割を考え, 1・2年生合同で「話すこと・聞くこと」の領域における指導を行います。各学年で身に付けたい力を明確にし, 相手意識を持って自覚的に身に付けさせる言語活動の在り方を提案します。	◇本間 隆司 ◇高橋あずみ 岸川 浩幸	教授 府川源一郎先生 高木まさき先生
社会	○社会的な見方・考え方を育成する指導と評価 ～「公正な判断」を軸に言語活動の充実をはかる～ 公開授業② 2年	・思考力・判断力・表現力等を育成するため, 課題設定や言語活動の質的な充実を意図した実践を2年生地理的分野で行います。特に, 「社会的な見方・考え方」, 「公正な判断」という思考・判断に関する指導と評価について提案します。	◇前田総一郎 ◇渡邊 直展	教授 西脇 保幸先生
数学	○言語活動を通じた数学的な思考力・表現力を育成する指導と評価の工夫  公開授業① 1年 公開授業① 2年	・数学的活動の「ア 見いだす活動」と「イ 利用する活動」に「ウ 説明し伝え合う活動」を効果的に位置付けることで数学的な思考力・表現力を高めていく実践について研究してきました。主として, 数学の教科特性に留意した中長期での段階的指導について実践的に提案します。	◇藤原 大樹 ◇鹿島 俊章 ◇梶田久美子	教授 池田 敏和先生
理科	○科学的な思考力・表現力を育成する指導と評価 ～言語活動と体験の充実を通して～ 公開授業①② 2年	・科学的探究のプロセスに意図的, 計画的に言語活動を導入し, 科学的な思考力, 表現力を育成する授業を実践します。また, 観点「科学的な思考・表現」についての記録するための評価の在り方や, それを指導に生かす方策について提案します。	◇井上 祐介 ◇西野 厚志	教授 森本 信也先生
音楽	○音楽表現の創意工夫を育成する指導と評価  公開授業② 1年	・箏のグループ活動による, 器楽・創作の授業実践を紹介します。日本の伝統音楽の特徴や箏の音色について, 質の高まりが感じられる言語活動を提案します。	◇岩屋 禎枝	准教授 中嶋 俊夫先生
美術	○鑑賞を通して思考力・判断力・表現力を育成する指導と評価 公開授業① 2年	・言語活動を軸にした鑑賞の授業を行います。話し合い, 意見交換をすることにより, 1人では気づけない様々な価値に遭遇します。より良い気づきの機会となるための指導の工夫を提案します。	◇福田 幸恵	准教授 小池 研二先生
保健体育	○身体活動を充実させ, 思考力・判断力・表現力等を育成する指導と評価 ～言語活動の工夫を通して～ 公開授業① 1年	・器械運動(マット運動)の集団演技を通して, 生徒一人一人の関心・意欲, 技能の向上を目指します。また, ペア学習やグループ活動を行いながら自己の課題や集団演技の課題に気づき, それらを解決していくためのプロセスと評価を提案します。	◇富樫 ふみ 石米 誠	教授 落合 優 先生
技術分野 ・ 家庭分野	○生活を工夫し創造する能力を育成する指導と評価	・「A 材料と加工に関する技術」の(2)ウ「技術の適切な評価・活用」につなげる, 実践的・体験的な学習活動における指導と評価の在り方を提案します。	◇小倉 修	講師 鬼藤 明仁先生
	技術分野 公開授業① 2年 家庭分野 公開授業② 1年	・「B 食生活と自立」の(2)日常食の献立と食品の選び方について, 工夫し創造できる力を育成する指導と評価の在り方を提案します。	◇菅田 浩美	教授 堀内かおる先生
英語	○思考力・判断力・表現力等をはぐくむための指導と評価に関する研究 ～4技能を統合的に取り入れた言語活動の工夫～ 公開授業① 1年	・4技能の統合的な活動を通じた思考力・判断力・表現力等を育成する指導方法とその評価について, 3年間の研究をふまえ, Routine Workと教科書指導をベースに提案します。	◇須賀川京子 ◇大窪洋次郎	准教授 満尾 貞行先生

5 会 場 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校  
(横浜市営地下鉄弘明寺駅下車すぐ)

6 参加費及び書籍代 2,500円  
※当日、受付にてお支払い下さい。

7 申込み  
当日受付もいたしますが、資料準備などの都合上、裏面の『参加申込書及び個人情報保護に関する誓約書』に必要事項をご記入の上、2月16日(木)までにFAXでお申し込みください。  
当日受付の方の数が見込みをはるかに上回ってしまった場合、資料が不足し、お渡しできなくなることもございます。あらかじめご了承ください。

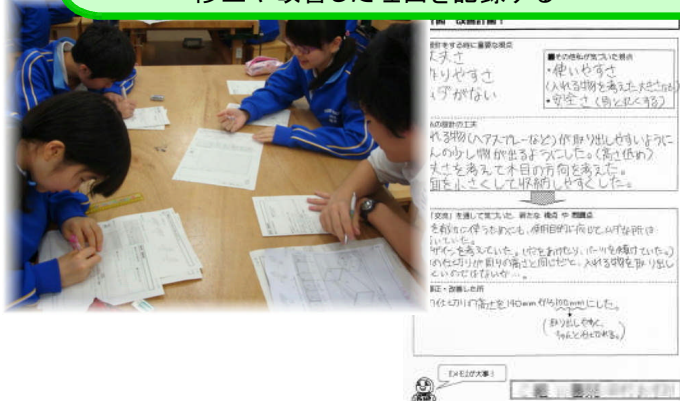


※ 当日は名札を着用していただきます。名札、ケースはこちらで準備してありますので、受付でご記入下さい。名刺を名札ケースに入れていただいても結構です。また、所属先の名札をそのままご使用いただいても構いません。

改善し合うため教科の用語を適切に用いて説明する



修正や改善した理由を記録する



考察の結果をホワイトボードを用いて説明する



※ ご不明な点は、担当までお問い合わせください。

[担当] 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校  
研究主任 小倉 修 E-mail: oosamu@ynu.ac.jp  
<http://www.yokochu.ynu.ac.jp/>  
〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-3  
TEL:045-742-2281 FAX:045-742-2522

## 『参加申込書及び個人情報保護に関する誓約書』

研究発表会への参加をお申込みいただき感謝申し上げます。恐れ入りますが、参加申込書と個人情報保護に関する誓約書をご一読の上、ご記入くださいますようお願い申し上げます。

- この用紙はお一人用です。お一人につき一枚ずつご記入くださいますようお願い申し上げます。
- この用紙はFAXでご送信されるとともに、当日、受付でご提出ください。お忘れにならないようご注意ください。

当日、この用紙をお忘れになると、受付で再度ご記入いただくことになります。受け付けは大変混み合います。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

### 参 加 申 込 書

フリガナ お名前	<b>※この用紙はお一人用です。お一人につき一枚ずつご記入ください。</b>			
所属機関名 ご担当の分野	都道府県		所属機関名(学校名など)	
	担当分野 (教科など)		参加される 協議会(教科)	
連絡先	TEL		FAX	
	E-mail (差し支えなければご記入ください)		@	
研究主題や内容などに関するご質問などありましたらお書きください。	<p>●過去の本校発表会へのご参加 (ご参加いただいたものにチェックを入れてください)</p> <input type="checkbox"/> 2006年6月(研究発表会:「読解力」でカリキュラム・マネジメント) <input type="checkbox"/> 2007年2月(文部科学省委嘱PISA型「読解力」事業) <input type="checkbox"/> 2007年6月(研究発表会:「習得・活用・探究」の授業) <input type="checkbox"/> 2008年2月(研究発表会:「習得・活用・探究」の授業をどうつくるか) <input type="checkbox"/> 2008年6月(研究発表会:各教科における言語活動の充実ー新しい学習指導要領の実践に向けてー) <input type="checkbox"/> 2009年2月(研究発表会:各教科等における「言語活動の充実」とは何か カリキュラムマネジメントに位置付けたリテラシーの育成) <input type="checkbox"/> 2010年2月(研究発表会:「思考力・判断力・表現力」を育成する方策(中高の系統的指導のためのカリキュラムマネジメント) <input type="checkbox"/> 2011年2月(研究発表会:「思考力・判断力・表現力」を育成する指導と評価)			

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校長 宛

### 個人情報保護に関する誓約書

個人情報保護法の趣旨に基づき、研究発表会における授業において撮影した横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校生徒の映像・写真・音声及び個人情報などについては、研究・研修を目的とした個人的使用に限定します。横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校職員・生徒・保護者の承諾なく公表・発表を行わないことを誓約いたします。

お名前(自署)

※ 研究協議、講演における録音・撮影などはご遠慮ください。